

国連世界食糧計画（WFP）当地代表代理との意見交換 （令和 6 年 9 月 13 日）

2024/09/13

令和 6 年 9 月 13 日、西牧大使はマチニカ（Mr. Tiwonge Machiwenyika）当地 WFP 代表代理による表敬訪問を受けました。西牧大使とマチニカ代表代理は、来月から開始される令和 6 年度緊急無償資金協力案件「クネネ州およびオハンゲナ州の栄養失調に最も罹りやすい干ばつの影響を受けた人々や子供たちが栄養価の高い食品にアクセスできるようにする支援」（供与額 50 万米ドル、実施期間：2024 年 10 月～2025 年 3 月）に関する意見交換を実施しました。日本政府は、エルニーニョの影響による史上最悪規模の干ばつで、深刻な食料不安に直面しているナミビアに対する人道支援として、緊急支援を実施します。南部アフリカ地域では、昨年末から本年初旬にかけての雨季の降水量が例年の 20%程度に留まった影響で、穀物の収穫量が大幅に減少しています。また、干ばつに加え、昨今の国際情勢を背景とする世界的な食料価格の高騰等の影響によって、深刻な食料不安に直面しています。



（左から）マチニカ WFP 代表代理、西牧大使、シャフダ WFP 副代表